

平成21年10月15日 発行
毎月1回15日発行
編集兼発行人 全国漁港漁場協会
社団法人 濱田研一
東京都港区赤坂1-9-13三栄ビル8階
電話 東京(5114)9981
定価 1部70円
(会員の購読料は会費の中に含む)

漁港漁場月報

漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

農林水産大臣に赤松広隆氏

9月16日に発足した鳩山由紀夫内閣で、農林水産大臣に赤松広隆氏(民主党・愛知5区)が就任した。18日には農林水産副大臣が決定し、山田正彦氏(民主党・長崎3区)と郡司彰氏(民主党・茨城)が就任した。農林水産大臣が就任した。農林水産大臣が就任した。

22年度予算要求 見直し

政府は、9月20日の閣議で、平成22年度予算編成の基本方針を決定した。麻生内閣が決めた概算要求基準(シーリング)は廃止され、各省から提出された概算要求は白紙見直しとし、各省が10月15日まで改めて要求を提出することになった。

漁村での汚水処理人口普及率は51%

水産庁が調査結果公表

水産庁は、9月30日、漁港背後に位置する人口5千人以下の集落における汚水処理人口普及率の調査結果を発表した。調査結果を公表した。漁村における汚水処理は、各都道府県が策定した「都道府県構想」に基づいて、集落排水施設、公共下水道、浄化槽等に

第2回理事会を開催

(社)全国漁港漁場協会

9月18日午後2時から協会会議室において第2回理事会を開催した。議題は、①第1回全国漁港漁場大会付議案案(第2回大会)の開催、②次回大会(第2回大会)の開催、③職員会員の入会について、④他団体への入会(賛助会員)について(4件)の4件。

21年度補正予算も一部返納

農水省は10月6日、21年度補正予算の見直しによる返納見込額を公表した。水産関係の総額は238億円で、そのうち水産整備事業は38億円となっている。

率に51%となった。漁業集落排水施設による汚水処理人口は17万3千人で、10年度より6千人増加し、全体の処理人口に占める割合は14.3%となっている。なお、公共下水道が52.7%、農業集落排水が6.8%、浄化槽等が26.3%の割合である。

磯焼け対策実践事例を紹介

日本水産工学会のシンポジウム

9月28日に東京海洋大学品川キャンパスの薬水会館で、全国から125名が参加し、日本水産工学会の秋季シンポジウム「持続的な磯焼け対策の推進」を開催した。

21年度通常総会・実地訓練

青森県漁村災害対策ボランティア協議会

青森県漁村災害対策ボランティア協議会の平成21年度通常総会及び実地訓練が9月11日、青森市の青森県水産ビルと青い海公園で行われた。

差が存在している。漁港整備長期計画では、平成23年度末の汚水処理人口普及率を概ね60%とすることを目標としており、水産庁では、引き続き、地方公共団体、関係団体と一致協力して、漁村集落排水施設等の整備促進を図り、漁村の生活環境の改善を推進していくとしている。



青い海公園での携帯電話による被災写真送信訓練の様子

「持続的な磯焼け対策の推進」

高知県、大分県、長崎県及び鹿児島県等のうち二類除去と母藻供給を組み合わせる取り組みが紹介され、対策の実施により磯焼けが改善し、藻場回復に効果が出ている状況が報告された。

「青森県漁村災害対策ボランティア協議会」

協議会では、田中正世市長が挨拶し、統一原田邦治青森県漁港漁場協会専務理事、新山英邦青森県漁港漁場協会専務理事が挨拶を述べた後、平成21年度事業報告及び収支決算、平成21年度事業計画を置いている。

業等の職務経験のあるボランティアを要請に応じて地方公共団体、派遣元、災害復旧業務の支援を行うことを目的として平成20年9月に青森県内に事務所を設けられた。

11月9日に漁港機能維持改善の技術セミナー

独立行政法人水産総合研究センター水産技術交流センターでは、11月9日(月)午後2時から5時

11月6日に第13回海岸シンポジウム

全国海岸事業促進連合協議会(会長・堀川清司)は、11月6日(金)午後1時から、農林水産省、国土交通省の後援の下、東京都内の新宿明治田舎生命ホテルで「第13回海岸シンポジウム」を開催する。

と、山崎登HJK解説副委員長ら5名のパネリストによるパネルディスカッションが予定されている。参加費は無料。申込締切は10月20日(火)。問い合わせ、参加申し込みは、事務局の港湾海岸防災協議会へ。

平成21年度 漁港漁場整備事業研修会を開催

(社)青森県漁港漁場協会



研修会の様子

【青森県漁港漁場協会】(会長・越善靖夫東通村)は、9月30日に「平成21年度青森県漁港漁場整備事業研修会」を青森市内の「水産ビル」で開催した。

この研修会は、これからの漁港漁場整備事業の効率化のため、県内漁港漁場関係者に漁港漁場整備事業についての理解を深めてもらうことを目的に開催しているもので、今年度が9年目となる。

参加者は県及び市町村の漁港漁場関係職員、水産関係団体及び漁協の役員、魚種関係企業、漁港漁場建設に関係する事務職員等で、75団体から160名が参加した。

はじめに、主催者を代表して今年6月に就任した越善会長が研修会の目的等を含め挨拶を行い、続いて新山英邦県農林水産部水産局漁港漁場整備課長(外城勉副参事が代読)の来賓挨拶があった。

研修会では、青森中央水産株式会社代表取締役専務の塩谷良一氏が「卸売市場における最近の水産物の流通事情について」と題する基調講演を行い、次に水産庁漁港漁場整備部防災課課長水産施設課防災課長岡田行氏による「水産基盤整備の展開方向」についての説明があった。

続いて、県下北地域民局地域農林水産部北地方漁港漁場整備事務所主幹の船水泰宏氏、同事務所主幹の三浦泰弘氏、後潟漁業協同組合代表理事組合長の川島秀吉氏、ライオンコンクリート代表取締役社長の松本和弘氏、共同コンクリート工業(株)の川越万氏がそれぞれ講演した。



講習会の様子

講演終了後には会場を「善会長の後援者の同市内の「アラスカ」に牛漁業協同組合代表理事組合長(共水連東北事業)が行われ、研修会は盛況な報告交換が行われた。越一本部青森支店推進本部裡に終了した。

【社)長崎県漁港漁場協会】(会長・中泉昌光)は、9月3日と4日、県及び市町村の水産基盤整備事業担当者対象の「平成21年度青森県漁港漁場整備事業講習会」を長崎市内の長崎市立図書館多目的ホール及び長崎歴史文化博物館ホールで開催し、60名の参加があった。

同協会の日野理彦専務理事の主催者挨拶に続き、10名の講師による順次講演が行われた。今年度は漁港施設の利用促進問題を考慮することも、漁港水域を有効に活用するさまざまな取組が本県水産業の発展と地域活性化に寄与することを目的とし、これら課題について研究が進んでいる(水産庁)

長崎市で水産基盤整備事業講習会を開催

(社)長崎県漁港漁場協会

1. 漁港水域利用について(水産土木建設技術センター)審議役兼調査研究部長 中泉昌光
2. 長崎県内における磯焼け対策への取り組みについて(水産土木建設技術センター)調査研究部 上席研究員 安藤 巨
3. 漁港計画について(長崎県水産部漁港漁場課 漁港計画係長 新野 耕三)
4. 長崎県における機能保全事業の取り組みについて(同課漁港計画係長 荒尾邦隆)
5. 長崎県における機能保全事業への平成21年度取組について
6. 効果的な漁場の整備について(同課漁場班主 任技師 大崎章太郎)
7. 漁港の管理について

水産庁 人事異動

- 【漁港漁場整備部への転入】
 - ◇計画課へ
 - 計画課(漁政部漁政課 兼大臣官房総務課) 河合 徳子
 - ◇防災漁村課へ
 - 防災漁村課長補佐・海 岸班担当(増殖推進部) 研究指導課長補佐・資源増殖技術班担当の野野村 昌彦(環境整備班計画係長) 柳瀬知之
 - ◇計画課から
 - ◇整備課へ
 - 増殖推進部研究指導課長補佐・資源増殖技術班担当(漁港漁場専門官) 柳瀬知之
 - ◇計画課から
 - 国土交通省・北海道開発局農林水産部水産課長(計画課長補佐・総括班担当) 堀越伸幸
 - ◇整備課から
 - 国土交通省・北海道開発局農林水産部水産課長(計画課長補佐・総括班担当) 堀越伸幸
 - 【漁港漁場整備部外への転出】
 - ◇計画課から
 - 国土交通省・北海道開発局農林水産部水産課長(計画課長補佐・総括班担当) 堀越伸幸

市町水産関係担当者研修会を開催

(社)福岡県漁港漁場協会

【福岡県漁港漁場協会】は、福岡県水産振興課の協力を得て9月15日福岡市「ホテルレガロ福岡」において、平成21年度市町水産関係担当者研修会を開催した。研修会には、県・市町村から52名が参加した。

この研修会は県内市町村の漁港漁場関係担当者を対象としたもので、今年度も水産庁から講師を招き、漁港漁場整備事業の説明を中心に実施した。

午後1時に開会し、福岡県漁港漁場協会の阿部周一副会長、福岡県水産振興課課長補佐 緊急事業について

の挨拶のあと、講師による研修に入った。午後4時30分までの長時間の研修であったが参加者は熱心に聴講した。

演題及び講師は、次のとおり(敬称略)。

「水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドラインについて」

水産庁 漁港漁場整備部 計画課 計画官 米山正樹

「水産基盤整備事業のシミュレーションについて」

水産振興課 漁港整備係 主任技師 野崎貴廣

「海岸堤防等老朽化対策緊急事業について」

【大分県漁港協会(会長・藤本昭夫)】は、大分県農林水産部漁港漁村整備課、水産振興課との共催により、9月25日午後、県庁新館81会議室において、漁港・漁場の整備等を担当する県職員、市町村職員の技術

の研鑽、情報の共有を目的とした平成21年度漁港漁場担当職員研修会を開催した。

研修会では、大分県漁港整備課長の挨拶を兼ねた、大分県の水産業の姿」の話が始まり、来賓講師として招いた水産

主任技師 後川龍男

「水産振興対策事業・沿岸漁業構造改善事業について」

水産振興課 流通係長 深川敦平

「漁港管理事務について」

水産振興課 施設管理係 主任技師 上村和義

「漁港整備事業について」

水産振興課 施設管理係 主任技師 上村和義

「漁港管理事務について」

水産振興課 施設管理係 主任技師 上村和義

「漁港整備事業について」

水産振興課 施設管理係 主任技師 上村和義

その後、会場を市内のホテルに移し、63名が出席し、交流会が行なわれ、藤本昭夫会長、森健二課長補佐、副主幹 大屋 寛「大分県の漁場整備について」

「設計・積算に関する事について」

漁港漁村整備課建設班 技師 新納竜市

「漁港の管理について」

技師 甲斐智之

「漁港の管理について」

技師 行平真也

「漁港の管理について」

技師 行平真也

「漁港の管理について」

技師 行平真也

【熊本県漁港漁場協会(会長・安田公寛)】は、10月2日午後4時から、熊本市の「ホテル日航熊本」において、平成21年度通常総会を開催した。

総会は安田会長の挨拶に続き、廣田大作熊本県農林水産部長、田中潤児(社)全国漁港漁場協会会長が来賓祝辞を述べた。

安田会長を議長に議事に入り、平成20年度事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案、熊本県漁港漁場協会給与等規程案、平成21年度事業計画及び収支予算案、役員候補1次選任案を提案通り議決した。

【漁港漁場整備部内の異動】

◇計画課

計画課長補佐・総括班担当(防災漁村課長補佐) 石井 昌彦

◇計画課

計画課長補佐・総括班担当(防災漁村課長補佐) 石井 昌彦

◇計画課

計画課長補佐・総括班担当(防災漁村課長補佐) 石井 昌彦

漁港往来

自9月1日 至9月31日

9月7日(月) 課長山本泰彦氏

9月16日(水) 青森県漁港漁場協会専務理事原田邦治氏、同協会総括主幹 高橋猛氏

【大分県漁港協会(会長・藤本昭夫)】は、大分県農林水産部漁港漁村整備課、水産振興課との共催により、9月25日午後、県庁新館81会議室において、漁港・漁場の整備等を担当する県職員、市町村職員の技術

の研鑽、情報の共有を目的とした平成21年度漁港漁場担当職員研修会を開催した。

研修会では、大分県漁港整備課長の挨拶を兼ねた、大分県の水産業の姿」の話が始まり、来賓講師として招いた水産

主任技師 後川龍男

「水産振興対策事業・沿岸漁業構造改善事業について」

水産振興課 流通係長 深川敦平

「漁港管理事務について」

水産振興課 施設管理係 主任技師 上村和義

「漁港整備事業について」

水産振興課 施設管理係 主任技師 上村和義

その後、会場を市内のホテルに移し、63名が出席し、交流会が行なわれ、藤本昭夫会長、森健二課長補佐、副主幹 大屋 寛「大分県の漁場整備について」

「設計・積算に関する事について」

漁港漁村整備課建設班 技師 新納竜市

「漁港の管理について」

技師 甲斐智之

「漁港の管理について」

技師 行平真也

「漁港の管理について」

技師 行平真也

【熊本県漁港漁場協会(会長・安田公寛)】は、10月2日午後4時から、熊本市の「ホテル日航熊本」において、平成21年度通常総会を開催した。

総会は安田会長の挨拶に続き、廣田大作熊本県農林水産部長、田中潤児(社)全国漁港漁場協会会長が来賓祝辞を述べた。

安田会長を議長に議事に入り、平成20年度事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案、熊本県漁港漁場協会給与等規程案、平成21年度事業計画及び収支予算案、役員候補1次選任案を提案通り議決した。

【漁港漁場整備部内の異動】

◇計画課

計画課長補佐・総括班担当(防災漁村課長補佐) 石井 昌彦

◇計画課

計画課長補佐・総括班担当(防災漁村課長補佐) 石井 昌彦

◇計画課

計画課長補佐・総括班担当(防災漁村課長補佐) 石井 昌彦